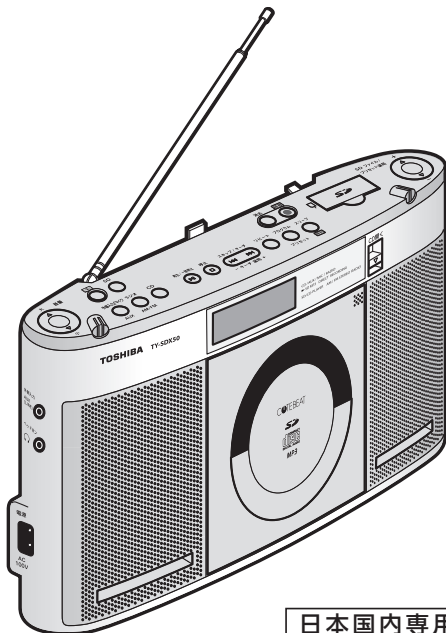
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝 SD/CD ラジオ
取扱説明書

形 名
TY-SDX50

● このたびは SD/CD ラジオをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
● この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
● お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

● 保証書はこの取扱説明書の 55 ページについていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

日本国内専用
Use only in Japan

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
	“取扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。

＊1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

プラグを抜く

発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

（警告つづき）

⚠警告

確実に
差し込む

電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む

交流 100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

禁 止

雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない

野外で使用していて、雷が鳴り出したら、アンテナをたたんで安全な場所に避難する

感電の原因となります。

プラグを
抜く

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

指 示

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

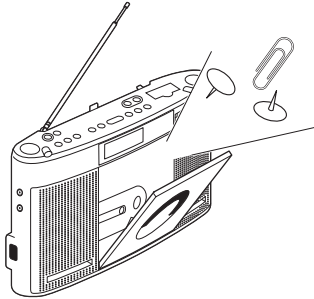
・傷つけない
・延長するなど加工しない
・加熱しない
・引っ張らない
・重い物を載せない
・はさんだりしない
・無理に曲げない・ねじらない
・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。

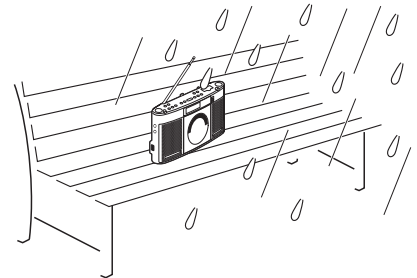
⚠ 警告

異物を
入れない

異物を入れない

金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

プラグを
抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

禁 止

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

禁 止

次のような場所には置かない

・ふろ場など、水がかかったり、湿気の多い場所
・雨、きりなどが直接入り込むような場所
・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所　・直射日光の当たる場所
・炎天下の車内　・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所　・振動の強い場所
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
火災・感電の原因となります。

⚠注意

CD挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

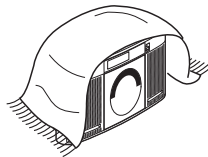
CDピックアップをのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ヘッドホンの音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きい音量で長時間聞き続けると、聴力障害の原因となります。

通風孔をふさがない

・壁に押しつけない（背面3cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
・押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
・じゅうたんや布団の上に置かない
・あお向け・横倒し・逆さまにしない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

機器の上に乗ったり、上に重い物を置いたりしない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

SDカード（別売）を幼児の手の届く場所に置かない

SDカード（別売）を誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

（注意つづき）

⚠注意

プラグを抜く

持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止

電源コードは付属のもの以外を使用しない

火災・感電の原因となります。

禁止

付属の電源コードを本製品以外には使用しない

火災・感電の原因となります。

指示

乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

・指定以外の電池は使用しない
・極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
・本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
・長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

お願い

近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

免責事項について

● 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●本機は全ての SD カードに記録されているオーディオファイルの再生を保証するものではありません。

SD カードについて

- 本機は、SD 規格に準拠した SD カードに記録された MP3 オーディオファイルと、WMA オーディオファイルを再生します。
- 本機は SD カードに CD、ラジオ、外部の音声 (Line in/AUX) と、内蔵ステレオマイクによる音声を MP3 オーディオファイルに変換し、記録します。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- 録音時間の目安

メモリ容量	512MB	1GB	2GB
録音時間	約 8 時間	約 16 時間	約 32 時間

- SD カードは基本的に 32MB から 2GB までの FAT16 または FAT32 に対応しています。FAT12 には対応していません。
- デジカメやケータイなどの画像データの入った SD カードは録音・再生できません。
- ミニ SD カードやマイクロ SD カードは SD 変換アダプターが必要です。
- SD カードを読み込み時の表示は全ファイル数と全容量に対する空き容量のパーセント (%) です。
  また録音・再生中の表示ははホルダー番号、ファイル番号、経過時間の表示となります。
- 録音・再生可能なホルダー数は最大 999、ファイル数は最大 9999 です。
- SD カードは、SDHC カードには対応しません。
- SD カードを利用する場合は、それぞれの取扱説明書に従って正しくご使用ください。記録状態によっては録音・再生できない場合があります。
- SD カードに触れる際は、接地された金属などに触れるなど一旦身体の静電気を放出してください。データ消失や故障の原因になります。
- SD カードでの再生中やコピー中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。データ消失や故障の原因になります。必ず停止ボタンを押してから抜いてください。
- パソコンなど他の機器で作成された SD カードを再生したり、空き容量に録音した場合、ホルダー構成が変わることがあります。
- 反りなど変形したSDカードは正しく接続されなかったり、取り出せなくなったりするので、使わないでください。
- 直射日光の当たる場所での使用、保管はしないでください。
- ぶつけたり、落としたり踏みつけたりなど強い衝撃を与えないでください。
- フォーマットが必要なときは SD/miniSD/microSD カード専用のソフトウェアで行ってください。
- SD カードを抜く場合は停止ボタンを押してから抜いてください。SD カード内のデータが破損することがあります。
- TOC 情報（全曲数と空き容量）が表示された時、まれに全ホルダー数（全曲数）の前に“F”が点滅する場合はホルダーを読み込めないメッセージです。このような SD カードはフォーマットし直すことをお勧めします。

著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてのお願い

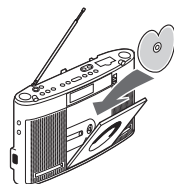
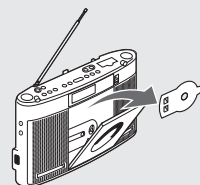
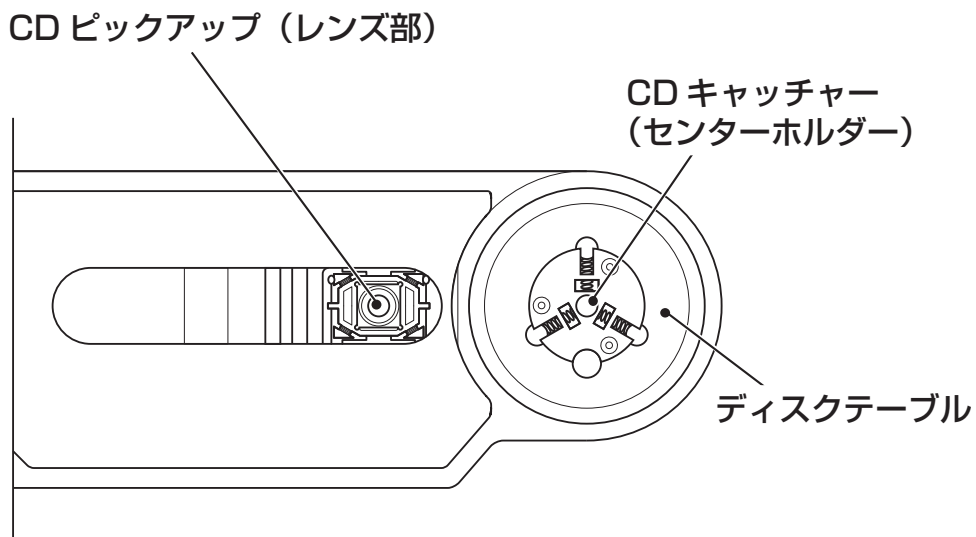
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音機能のチェック・ためし録りをしてください。

音楽CD、MP3ディスクについて

⚠注意

禁 止

円形ディスク以外は使用しない

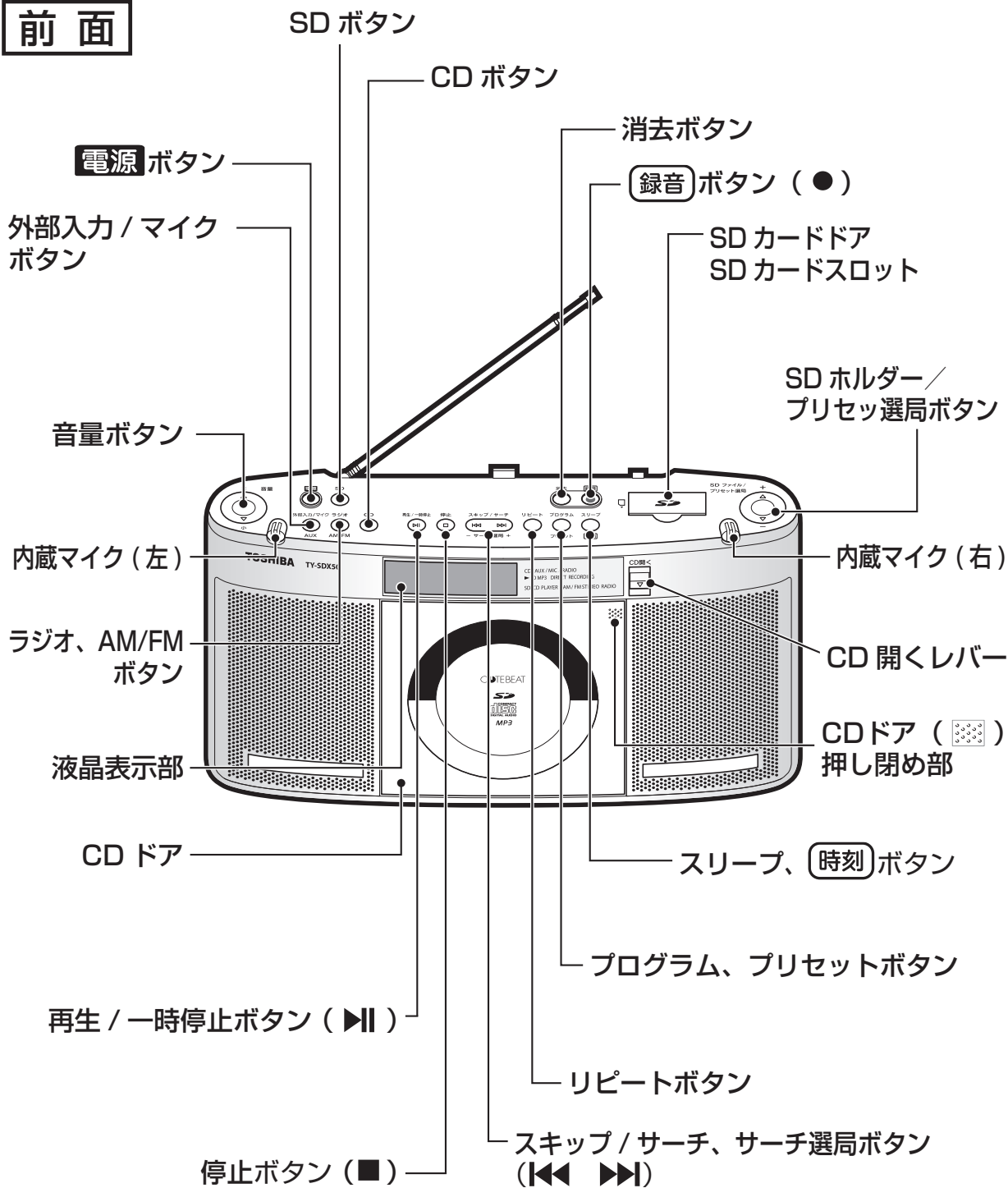
円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがありますので使用しないでください。

- ディスクテーブルに運送時の保護シールが取り付けられています。はじめてお使いになるとき、ご使用の際に取りのぞいてください。
- CD-R、CD-RW ディスクについては、音楽収録用規格（CD-DA フォーマット）で記録された一般市販ディスクおよび MP3 オーディオ形式、WMA オーディオ形式で記録されたディスクが再生できます。
- 反射率が低いディスクは情報を読み込めない場合があります。
- コピーコントロール CD や特殊形状など規格外のディスクは再生できません。
- CD の再生中は CD ドアを開けないでください。CD を傷つけることがあります。
- CD に傷、指紋、ほこりがついていると、再生できないことがあります。
  一部再生できた場合でも音が飛んだり、停止することがあります。
- CD はディスクテーブルのキャッチャーにしっかりはめ込んでください。正しくホールドされていない場合、CD に傷をつけたり故障の原因となります。
- CD が正しくホールドされていない場合や読み取れないディスクが入っている場合、“**no disc**”（ノーディスク）または“**Err disc**”が表示され、再生できません。
- 必ず専用ケースに入れて保管ください。
- CD 面に紙やシールを貼らないでください。偏芯したり、面振れして正しく再生できなくなります。
- CD 面に汚れやキズがつかないように大切に扱ってください。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。変形して再生できなくなります。
- CD を入れる前に再生面にほこりやゴミ、指紋などが付いていたら、柔らかい布でふきとってください。
- シンナーやベンジン、アルコールは CD の情報面を犯し、読み込めなくなるので使用しないでください。
- 音楽 CD の読み込み後の表示は全曲数と全収録時間、再生開始すると演奏曲番、演奏経過時間になります。
- MP3 ディスクの読み込み後の表示はホルダー数と全ファイル数、再生開始すると、ホルダー番号、ファイル番号、再生経過時間になります。
- 再生可能なホルダー数は最大 500、ファイルは最大 999 です。
- MP3 ディスクについては、ファイル形式が Windows グループ（WMA）、MP3（MPEG Audio Layer-3）方式での再生ができます。

お願い

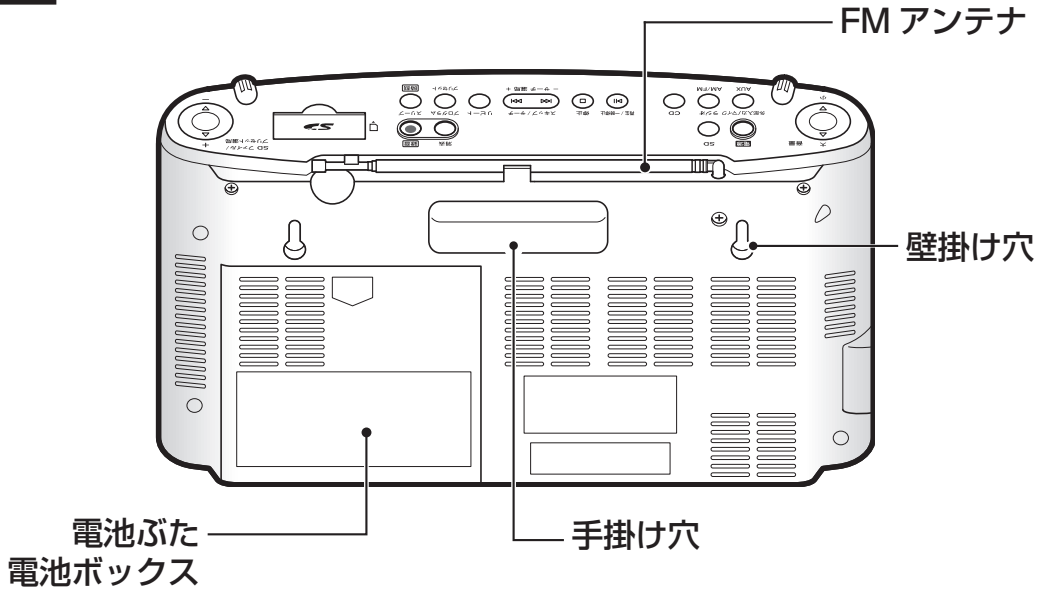
CD ピックアップ（レンズ部）は指で触らないでください。汚れたときは、市販の綿棒にレンズクリーナーをつけて軽くふき取ってください。

著作権について

● 個人が楽しむ以外の不正コピーは著作権法上禁止されています。

各部のなまえ

前 面

※液晶表示部保護シート、ディスクテーブルの保護シールをはがしてからご使用ください。

背 面

左側面

付属品

電源コード

保証書付
取扱説明書 (本書)

液晶表示部の見かた

ホルダー
SD カードまたは MP3 ディスクのホルダー表示時に点灯
リピート
リピート選択時に点灯
スリープ
点灯:スリープタイマー選択時に点灯
1/オール
1曲または1ファイルリピート選択時に点灯
全曲または全ホルダーリピート選択時に点灯
外部入力
外部音声入力選択時に点灯
CD
CDまたはMP3ディスク選択時に点灯
プログラム
プログラム選択時に点灯
SDカード
SDカード選択時に点灯
SDカードへ録音中に点滅
録音
SDカード録音時に点滅
SD CD AUX SLEEP FOLDER REPEAT 1 ALL PROG
REC
ERASE
MP3
WMA
AM
PM
FM
ST
MHz kHz
電池が少なくなったときに一斉に点滅し、電池交換時期を知らせます。
消去
SDカードの消去時に点滅
数値およびメッセージの表示例参照
MP3
MP3ディスクまたはSDカード再生時に点灯、録音時に点滅
AM
AM放送受信時と時刻の午前に点灯
PM
時刻の午後に点灯
WMA
WMAオーディオファイル再生時に点灯
ステレオ
FMステレオ放送受信時に点灯
FM
FM放送受信時に点灯
kHz
AM放送受信時に点灯
MHz
FM放送受信時に点灯

表示例

● 時計

08:23	時刻を表示（例）8 時 23 分

● ＣＤ再生

CD 24 73:08	CD 挿入時の全曲数と総再生時間を表示。（例）全 24 曲　総再生時間 73 分 8 秒
CD 01 02:02	CD 再生時曲番と再生経過時間を表示。（例）曲番 1　再生経過時間 2 分 2 秒
CD 03 P.01 PROG	プログラム再生時曲番とプログラム順番を表示。（例）曲番 3 プログラム順番 1

● MP3 ディスク再生

CD 007 012	MP3 ディスク挿入時の全ホルダー数と全ファイルを数を表示。
CD FOLDER F001 00:55 MP3 交互表示 -002 00:57 MP3	MP3 ディスク再生時、ホルダー番号、ファイル番号とプログラム番号、再生経過時間を表示。
SD CD FOLDER F009 01:16 REC MP3 交互表示 SD CD -001 01:18 REC MP3	MP3 ディスク録音時、ホルダー番号、ファイル番号と録音経過時間を表示。 （例）ホルダー番号 009 のファイル番号 001 に 1 分 18 秒まで録音中。

● ラジオ受信

AM 1420 kHz	AM 放送の受信局を表示。（例）1420kHz の AM 局
P-09 AM 522 kHz	プリセット選局時の局番と AM 放送の受信周波数を表示。 （例）AM のプリセット局番 9　AM522kHz
FM 76.10 MHz	FM 放送受信局を表示。（例）76.10MHz の FM 局
P-02 FM 72.50 MHz	プリセット選局時の局番と FM 放送局の表示。 （例）FM のプリセット局番 2　72.5MHz

●外部入力音声再生

AUX LINE IN	外部接続した機器の音声再生モードを表示。

●マイク録音

MIC	内蔵マイク録音モードを表示。

（液晶表示部の見方つづき）

（表示例つづき）

●SD カード録音再生

表示	説明
SD 108 CAP.38	SD カード再生時の表示。 （例）全 108 ファイル　空容量約 38%
SD FOLDER F001 00:41 MP3 ⇕交互表示 -002 00:43 MP3	SD カード再生時の表示。 ホルダー番号 - ファイル番号と再生経過時間を表示。 （例）ホルダー 001、ファイル 002 の再生経過時間 0 分 43 秒経過。
SD FOLDER PROG F001 P.02 MP3 ⇕交互表示 -001 10:48 MP3	プログラム再生時の表示。 ホルダー番号 - ファイル番号とプログラム番号・再生経過時間を表示。 （例）プログラム番号 02、ホルダー 001、ファイル番号 001 の 10 分 48 秒経過。
SD CD FOLDER F003 00:04 REC MP3 ⇕交互表示 SD CD FOLDER -005 00:06 REC MP3	CD を SD カードに録音中の表示。
SD FOLDER F009 FM ST 01:41 REC MP3 ⇕交互表示 SD FOLDER -001 FM ST 01:43 REC MP3	ラジオを SD カードに録音中の表示。 （例）選局した FM 放送を SD ホルダー番号 009 のファイル番号 001 に 1 分 43 秒まで録音中。
SD AUX F010 01:23 REC MP3 ⇕交互表示 SD FOLDER -001 01:25 REC MP3	外部入力音声を SD カードに録音中の表示。 （例）ホルダー番号 010、ファイル番号 001 に 1 分 25 秒まで録音中。
SD FOLDER F011 03:44 REC MP3 ⇕交互表示 SD FOLDER -001 03:46 REC MP3	内蔵ステレオマイクで音声を SD カードに録音時の表示。 （例）ホルダー番号 011、ファイル番号 001 に 3 分 46 秒まで録音中。

（表示例つづき）

●メッセージ

表示	内容
dEL ALL	「SD カードの全てを消去しますか？」を点滅確認
dEL FOLd	「SD カードの指定したホルダーを消去しますか？」を点滅確認
dEL FILE	「SD カードの指定したファイルを消去しますか？」を点滅確認
dEL END	「消去を終えました。」を表示
NO dISC	「CD が入っていません。」を表示
NO Sd	「SD カードが入っていません。」を表示
NO SONG	「SD カードに音声ファイルが書き込まれていません。」を表示
FULL Sd	「SD カードのファイル書込みが満杯になりました。」を表示
LINE IN	外部入力選択時の表示
MIC	ステレオ内蔵マイク選択時の表示
HELLO	電源を入れたときの表示
bYE bYE	電源を切ったときの表示
PrOt ECt	「SD カードがロックされています。」を表示
Err Sd	「読み込めない SD カードです。」を表示
Err Cd	「読み込めない CD です。」を表示
rEAdING	「記録情報を読み込み中。」を表示
dELEtING	「消去中。」を表示
FULL FOLd	「ホルダーが一杯です。」を表示
FULL FILE	「ファイルが一杯です。」を表示

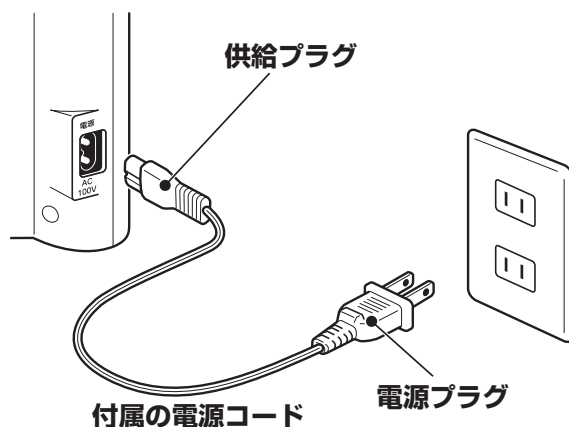
電源について

家庭用電源（AC100V）でご使用のとき

1 **付属の電源コードの供給プラグを側面の電源供給端子へ奥までしっかり差し込む**

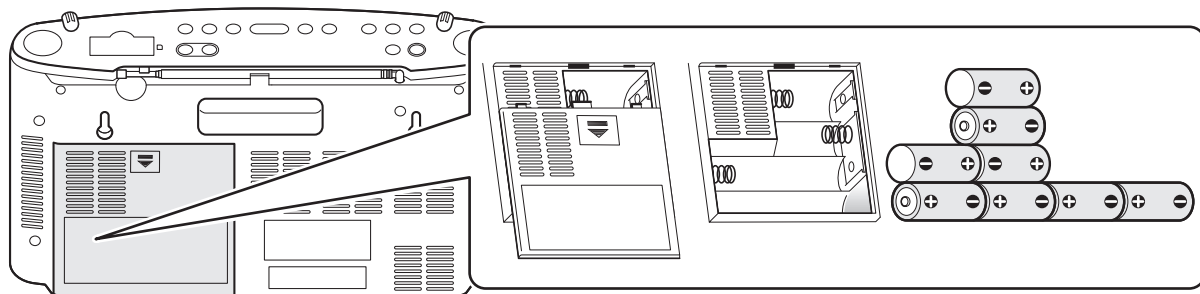
● きちんと差し込まないと、プラグ部分に熱を持ったり、電源が切れたりします。

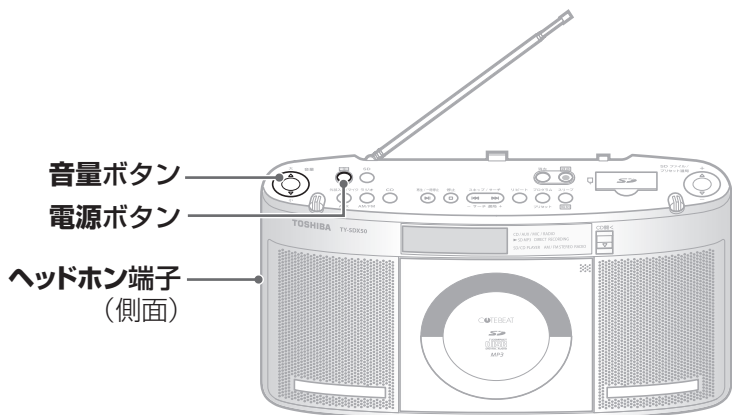
2 **電源プラグを家庭用電源 (AC100V) のコンセントへ根元までしっかり差し込む**

● 電源プラグを差し込むと液晶表示部に時計が表示されます。

お願い

電源コードを抜き差しするときは、電源ボタンを押し、電源を切ってからおこなってください。

乾電池（別売り）でご使用のとき

電池ぶたを矢印部分（OPEN）を押しながら下げてはずし、別売の単 2 形乾電池 8 本を図のように入れ、電池ぶたのフック部分を溝に入れスライドさせて閉めます。

● 極性（⊕と⊖）を間違えないように図のように入れます。
● 電源コードが電源供給端子に接続されていると、家庭用電源が優先して働きます。乾電池で楽しむときは、電源コードを外してください。
● 長期間（1 カ月以上）使用しない場合や AC 電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。
● 乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、CD が正常に動作しない、などの現象を生じます。
● 乾電池の交換時期が近づくと、液晶表示部上部の“SD…PROG”がいっせいに点滅表示されます。
● ご使用のモードによって残りの電池寿命時間は異なりますが、CD を SD カードに録音する場合は 30 分程度が目安となります。早めに電池交換されるか、AC 電源に切り換えることをお勧めします。

共通操作について

ボタンの押し方について

- **短押し**
  1 秒以内に短かく押し放すことです。
- **長押し**
  3 秒以上長く押し続けて放すことです。

電源を入れる

電源 ボタンを押す

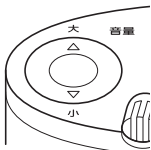
バックライトが点灯し、液晶表示部に「HELLO」が表示された後、最後に使ったモードが表示されます。

※電池の場合のバックライトの点灯は、何かボタンを押すごとに約 10 秒間持続します。

HE LLO

音量調節

［音量］ボタン（▲▼）を押す

液晶表示部に最後に設定されていた音量(数字)が表示されます。音量は 01 〜 30 まで可変できます。

UOL.10

CD・SD・ラジオ・外部入力の再生中に時計表示に切り換える

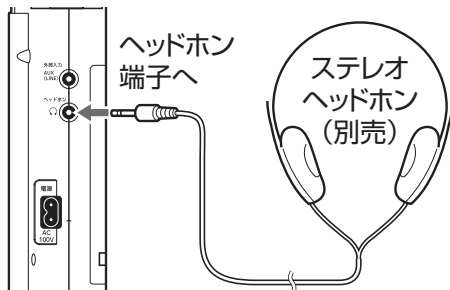
時刻 ボタンを長押しする

時刻が 5 秒間表示されます。

録音時は時計表示に切り換わりません。

ヘッドホンで聞く

ミニプラグ付のステレオヘッドホン（3.5 φ 別売）を側面のヘッドホン端子に接続する

ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。

電源を切るときは

電源 ボタンを押す

「byE　byE」が表示された後、時計表示に切り換わり、バックライトが消灯します。

byE　byE

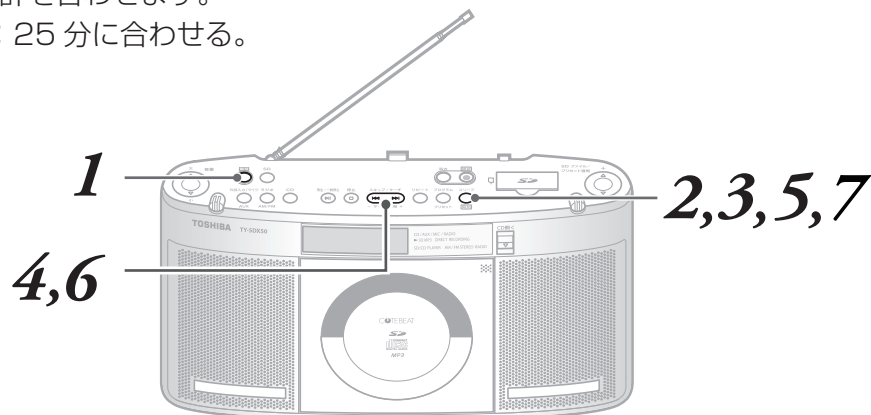
お知らせ

- CD、選択 SD をした場合、何もしない（ボタンに触れない）状態が約 5 分間経つと、電源は自動的に切れます。また、再生が終わったまま約 5 分間経つと電源は自動的に切れます。
- ラジオを選択した場合、何もしない（ボタンに触れない）状態が 4 時間経つと、電源は自動的に切れます。

時計を設定する

時刻の設定

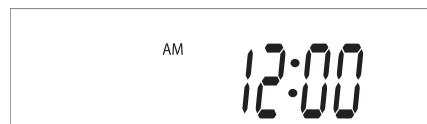
家庭用電源でお使いの後は電源コードを抜いた後も約 30 分間バックアップされています。

現在時刻に時計を合わせます。
［例］午後 8：25 分に合わせる。

1 電源 ボタンを押して電源を入れる

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用した機能が表示されます。

2 時刻 ボタンを時刻が表示されるまで長押しする

● 短押しはスリープ時間の設定となります。

AM 12:00

3 時刻 ボタンを短押しする

[時] が 5 秒間点滅します。

4 ［スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンを押して、現在の［時］を点滅中に設定する

5 時刻 ボタンを短押しする

現在の [時] が点灯に変わり設定され、次に [分] が 5 秒間点滅します。

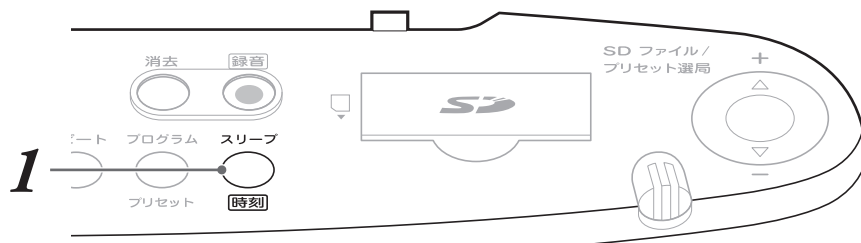
6 **[スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンを押して、現在の［分］を点滅中に設定する**

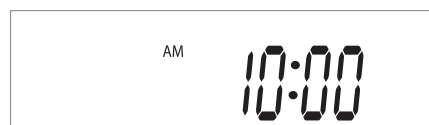
7 **時刻ボタンを短押しする**

現在の [分] が設定され、時間の設定が終わります。

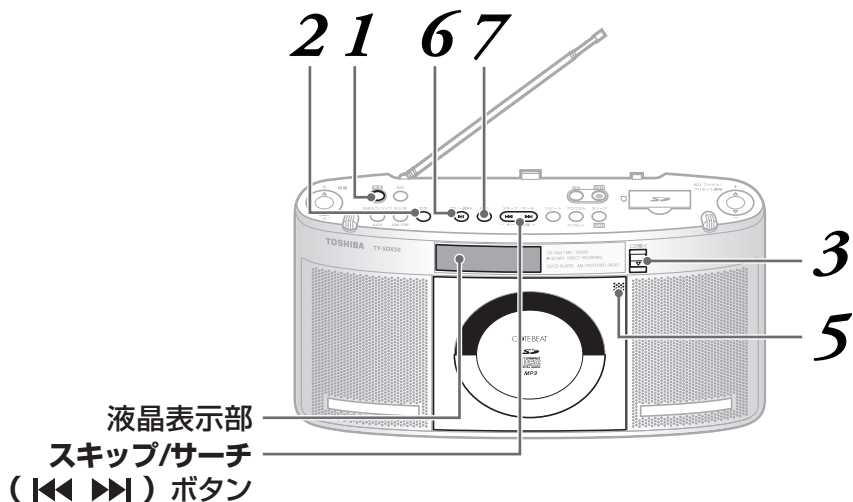
- **[スキップ／サーチ]** ボタン操作は [時][分] の点滅中に行ってください。
- 時刻ボタンを長押ししないと、スリープモードに切り換わります。その場合は時刻ボタンを長押しして再度やり直してください。

現在時刻の表示

SD カード、CD、MP3 ディスク、ラジオ、AUX の再生中に現在時刻を見ることができます。

1 **時刻ボタンを長押しする**

現在時刻が 5 秒間表示されます。
その後、元のモードに戻ります。

- 電源コードを抜いたり、停電した場合、時刻表示が消えますが、約 30 分間時刻はバックアップしますので早目に電源プラグをコンセントに差してください。
- 長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。この場合は改めて時刻設定をします。

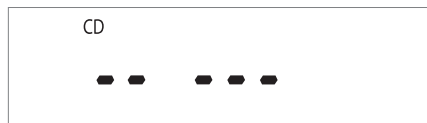
CD を聞く

通常再生

1 電源 ボタンを押す

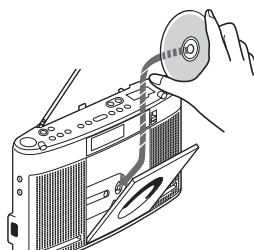
バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用した機能が表示されます。

● 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

2 [CD] ボタンを押す。

液晶表示部に“no disc”が表示されます。

3 [CD 開く] レバーを押して CD ドアを開ける

4 CD を入れる

CD は曲名などの表示面を手前にして CD キャッチャー（センターホルダー）に確実に差し込んでください。

一度に 2 枚以上の CD は入れないでください。

5 **CD ドアを右上の░部を押して CD ドアを閉める**

░部を押して、カチッと音がするまで確実に閉めてください。

約 5 秒後に液晶表示部に CD の全曲数と総再生時間が表示されます。

CD 24 73:08

（例）24曲 73分 8秒

6 **［再生 / 一時停止（▶II）］ボタンを押す**

曲番 1 から再生が始まります。

曲番と再生経過時間が表示されます。

CD 01 00:02

最後の曲が終わると自動的に止まります。

7 **途中で止めるときは［停止（■）］ボタンを押す**

全曲数と総再生時間の表示に戻ります。

CD 24 73:08

再生の一時停止

再生中に［再生 / 一時停止（▶II）］ボタンを押す

再生経過時間が点滅し、一時的に停止します。

もう一度押すと再び再生が始まります。

- 一時停止から 5 分経過すると、回転が止まり、初期の「全曲数と総再生時間」表示になり、さらに 5 分操作がないと電源が切れます。

聞きたい曲から聞く（スキップ）

停止または一時停止中に［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを押して、希望の曲番を選び、［再生 / 一時停止（▶II）］ボタンを押す

［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを長押しすると曲番が連続して変わります。

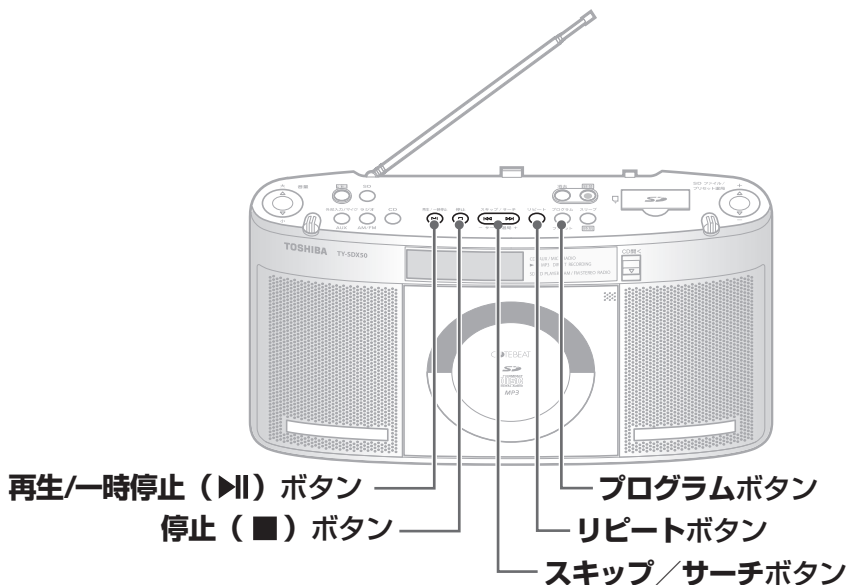
- **再生中の場合**

  ［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを短く押して希望の曲番を選ぶと希望の曲番の頭から再生が始まります。

早送り、早戻し（サーチ）

再生中に［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを長押しして、希望のところで指を離す

そこから再生が再開されます。

CD を聞く（つづき）

再生をくり返す（リピート再生）

［リピート］ボタンを押す

CD の中の 1 曲だけ、全曲、またはプログラムした曲をくり返し再生します。

● **1 曲だけをくり返し再生する場合**

くり返す曲を選び **［リピート］** ボタンを 1 度押してから **［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押します。（“**REPEAT 1**” が表示されます）

再生中に **［リピート］** ボタンを押すと
聞いている曲のくり返し再生に変わります。

CD REPEAT 1
05 00:00

● **全曲をくり返し再生する場合**

［リピート］ ボタンを 2 度押します。
（“**REPEAT ALL**” が表示されます）

再生中に **［リピート］** ボタンを 2 度押しすると
全曲くり返し再生に変わります。

● **プログラムした曲をくり返し再生する場合**

あらかじめ再生したい曲をプログラム（次ページ）し、**［プログラム］** ボタンを押し **［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押してから **［リピート］** ボタンを押します。

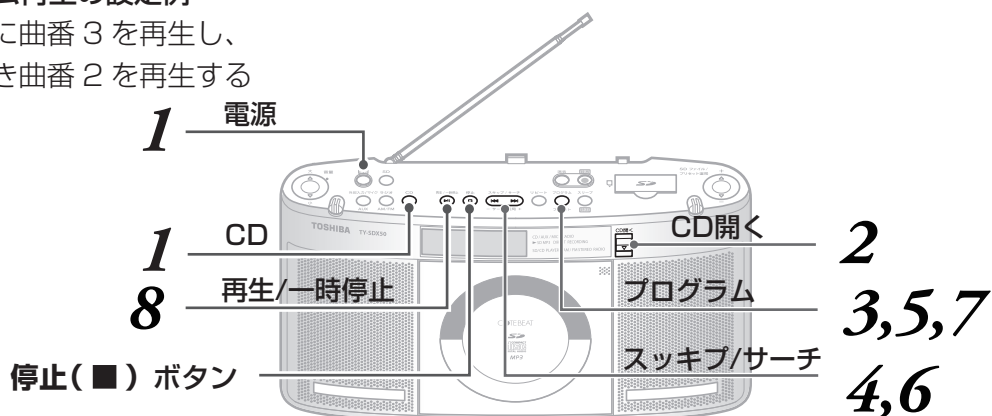
“**REPEAT 1 PROG**” 表示：
聞いている曲のくり返し再生

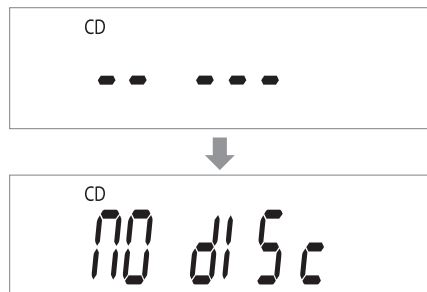
“**REPEAT ALL PROG**” 表示：
プログラムした全曲のくり返し再生

● **リピート再生を解除するには［リピート］ボタンを 1 度または 2 度押し、“REPEAT 1”または“REPEAT ALL”の表示を消します。**
［停止（■）］ボタンを押すとリピートも解除します。

お好みの曲を選んで聞く（プログラム再生）

お好みの曲を 40 ステップまで選んで再生することができます。
41 ステップ目は最初のステップに戻り、上書きとなります。

プログラム再生の設定例
はじめに曲番 3 を再生し、
引き続き曲番 2 を再生する

1 電源 **ボタンを押してから、［CD］ボタンを押す。**
液晶表示部に“no disc”が表示されます。

CD

2 **［CD 開く］レバーを押して CD ドアを開け CD を入れる**
CD ドアが開くと“OPEN”の表示がでます。
CD を入れた後、ドアを閉めると自動的に CD を読み込み始め、その後、液晶表示部に CD の全曲数と総再生時間が表示されます。

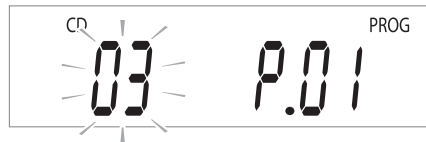
（例）24曲 73分 8秒

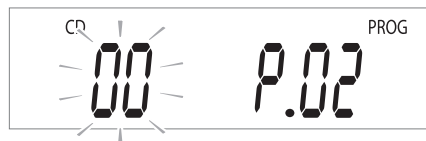
使いかた

3 ［プログラム］ボタンを押す

"PROG" と "P.01" が表示され、"00" が点滅します。

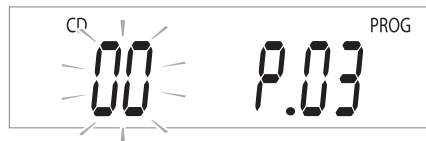
4 ［スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンをくり返し押して "03" を選ぶ

選んだ曲番が点滅します。

5 ［プログラム］ボタンを押す

1 番目の曲番が予約され、次のプログラム番号 "P.02" が表示され、"00" が点滅します。

6 ［スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンをくり返し押して予約したい 2 番目の曲番 "02" を選ぶ

選んだ曲番が点滅します。

7 ［プログラム］ボタンを押す

2 番目の曲番が予約され、次のプログラム番号が表示されて、"00" が点滅します。

8 ［再生 / 一時停止（▶II）］ボタンを押す

プログラム再生が始まります。予約した曲番が再生された後停止します。

- プログラム再生から通常再生にもどるには **［停止（■）］** ボタン 2 度を押してから、**［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押します。
- 設定したプログラムがすべて再生されると停止します。途中で **［停止（■）］** ボタンを押して停止することもできます。設定したプログラムは記憶しています。
- 停止中に **［プログラム］** ボタンを押すと、プログラムした第 1 曲目が点滅し、**［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押とプログラム再生になります。

プログラム設定について

確認する

プログラム再生中またはプログラム再生の一時停止中に［スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンを押すとプログラムした曲順に曲番が表示され、再生されます。一時停止中は［再生 / 一時停止（⏯）］ボタンを押すと表示されている曲から再生が始まります。

変更する

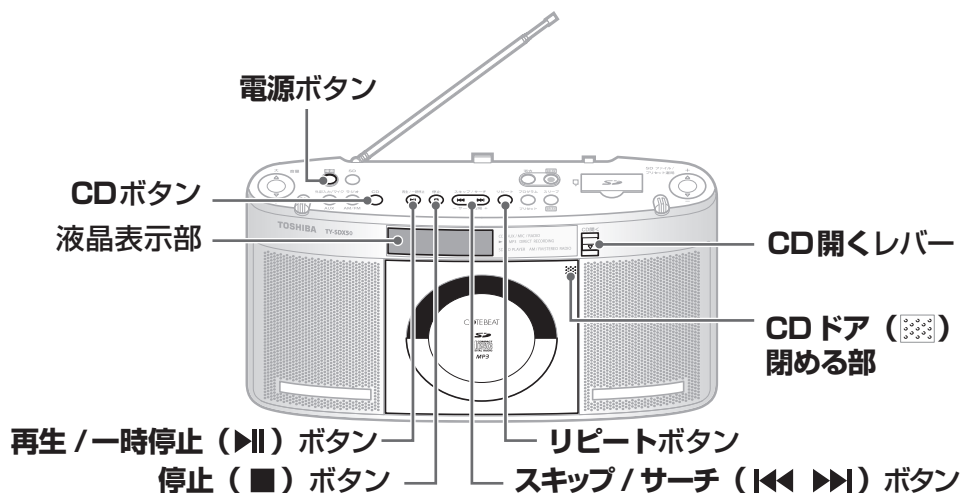
停止時に［プログラム］ボタンをくり返し押して変更したいプログラム順番を表示させた後、前ページからの手順４～６にしたがって曲を変更する

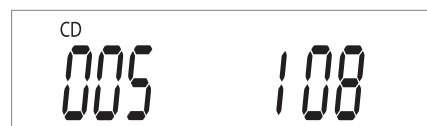
● プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

取り消す

設定したプログラムを取消すときは［CD 開く］レバーを押すか、CD 以外のモードに切り換えます。

MP3 ディスクを聞く

一般に、MP3 ディスク（MP3 ファイル形式で記録されたディスク）は CD のアルバムに相当するホルダーと、アルバムの中の曲名に相当するファイルで構成されています。

通常再生

● MP3 ディスクを入れると、液晶表示部に MP3 ディスクの総ホルダー数と総ファイル数が表示されます。
● ホルダー数字の前に点滅する“F”が表示された場合は、本機のホルダー読み取り可能数を超えた場合です。
　このような場合はSDカード専用のソフトウェアでフォーマットすることをお勧めします。
　ファイルなしのホルダーを削除するか、SD カードをフォーマット（全消去）し直してください。
●［再生］ボタンを押し、再生を開始すると、ホルダー番号 - ファイル番号と再生経過時間が表示されます。

（例）5ホルダー　108ファイル

(例)ホルダー番号 001の 1曲目を再生

お知らせ

● MP3 ディスクは、ホルダー数、ファイル数が多くなると読み取り時間が長くなります。

再生の一時停止

再生中に **［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押す

聞きたい曲から聞く（スキップ）

停止または一時停止中に［SD ホルダー（+、−)］ボタンを押して、希望のホルダーを選び、次に、［スキップ / サーチ（⏮、⏭)］ボタンを押して希望のファイルを選び、［再生 / 一時停止（⏯)］ボタンを押します。

早送り、早戻し（サーチ）

再生中に［スキップ / サーチ（⏮または⏭)］ボタンを押し続けて、希望のところでボタンから指を離します。

再生をくり返す（リピート再生）

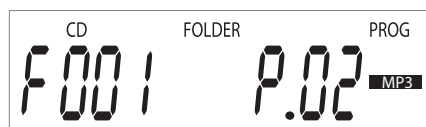
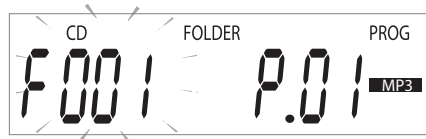
（例）ホルダー番号 5　ファイル番号 1 のリピート再生

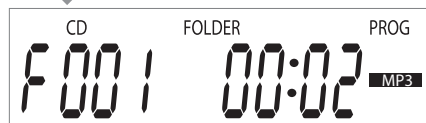
- 1 曲だけのくり返しはホルダーとファイルを選び再生し **[リピート]** ボタンを 1 度押して “**REPEAT 1**” を表示させます。
- 1 ホルダーのくり返しはホルダーを選び再生し **[リピート]** ボタンを 3 度押して “**FOLDER REPEAT**” を表示させます。
- 全ホルダーのくり返しは **[リピート]** ボタンを 2 度押しし、"**REPEAT ALL**" を表示させます。
- あらかじめ設定したプログラムのくり返しは、プログラム再生し **[リピート]** ボタンを 2 度押して “**REPEAT ALL PROG**” を表示させます。
- リピート再生を解除するには **[リピート]** ボタンを 1 度または 2 度押し、“**REPEAT** ” または “**REPEAT ALL** ” の表示を消します。
  [停止（■)] ボタンを押すとリピートも解除します。

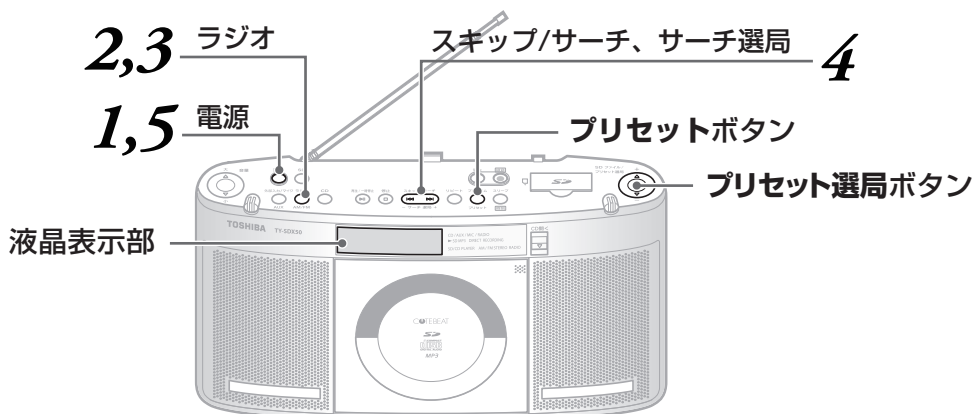
使いかた

MP3 ディスクを聞く（つづき）

お好みの曲を選んで聞く（プログラム再生）

● MP3 ディスクを入れ、**［プログラム］**ボタンを押しプログラム 1 番目に入れるホルダー番号とファイル番号を選び、再度**［プログラム］**ボタンを押して設定します。
お好みの曲を40ステップまで選んで再生することができます。
41 ステップ目は最初のステップに戻り、上書きとなります。
同様に 2 番目以降のホルダーとファイルを設定して設定が全て終えたら**［再生／一時停止（▶II）］**ボタンを押します。

再生 / 一時停止ボタンを押すと

● 再生を開始すると、ホルダー番号 - ファイル番号が交互に表示され、プログラム番号表示の後再生経過時間が表示されます。

（例）ホルダー番号 1　ファイル番号 3 をプログラムした後、そのプログラム再生

ラジオを聞く

1 電源 ボタンを押す

バックライトが点灯し "**HELLO**" が表示された後、前回使用した機能が表示されます。

● 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

2 [ラジオ（AM/FM)] ボタンを押し「ラジオ」にする

ラジオ

AM/FM

液晶表示部に“**AM**”または“**FM**”と受信周波数が表示されます。

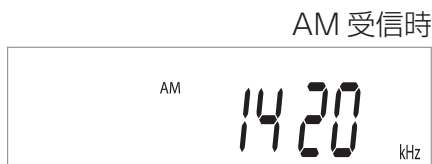
3 [ラジオ（AM/FM)] ボタンを押し希望のバンドを選ぶ

● ボタンを押すごとに受信バンドが AM → FM → AM と切り換わります。

AM 受信時

AM 1420 kHz

FM 受信時

FM 76.00 MHz

ラジオ

AM/FM

4 [サーチ選局（|◀◀または▶▶|)] ボタンを押して希望の放送局に合わせる

● 長押しした後離すと、受信状態の良い放送局を探し、自動的に受信して停止します。再度長押しした後離すと、次の受信状態の良い放送局を探し、自動的に受信して停止します。

● 電波の弱いところでは、雑音を受信して止まることがあります。

● あらかじめプリセット（受信登録）している場合は（30 ページ参照）**[プリセット選局]** ボタンでプリセット番号を選び受信することができます。

5 ラジオを切るときは 電源 ボタンを押す

使いかた

プリセット（受信登録）のしかた

よく聞く放送局をプリセットしておくと、[プリセット] 選局ボタンで簡単に選局できます。

---

1 **[ラジオ（AM/FM)］ボタンを押しプリセットする受信バンドを選ぶ**

---

2 **放送局を受信する**

通常受信のしかた（前ページ）によりプリセットする放送局を受信します。

FM 79.50 MHz

---

3 **[プリセット］ボタンを押して、ひとつ目をプリセットする**

最初に登録するときは、液晶表示部のプリセット番号“P-01”が点滅します。
プリセット番号を変更するときは、**[プリセット選局]** ボタンを押してプリセット番号を選びます。

P-01 FM 79.50 MHz

---

4 **[プリセット］ボタンを押す**

点滅が点灯に変わりひとつ目“**P-01**”がプリセットされます。

● プリセット番号の点滅中に [**プリセット**] ボタンを押してください。点滅が終わってしまったら再度手順 3 にもどってください。

P-01 FM 79.50 MHz

---

5 **次にプリセットする放送局を受信する**

FM 82.00 MHz

---

6 **[プリセット］ボタンを押す**

“P-02”が点滅します。

P-02 FM 82.00 MHz

---

7 **もう一度［プリセット］ボタンを押す**

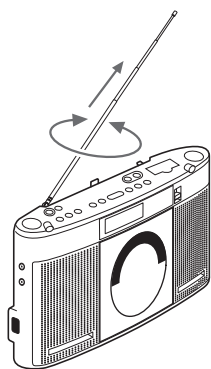
点滅が点灯に変わりふたつ目の“**P-02**”にプリセットされます。

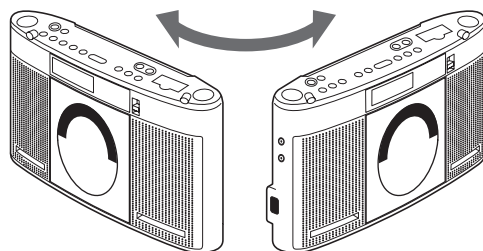
お知らせ

- すでに設定済みのプリセット番号に他の放送局を記憶させせると、前の放送局は消え、新しい放送局が記憶されます。
- FM は 20 局、AM は 10 局まで選択できます。
- なお、プリセット番号が点滅している間に右端の **［プリセット選局］** ボタンでプリセット番号を選ぶこともできます。

よりよい受信をするために

FM 放送

アンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向に向けてください。

AM 放送

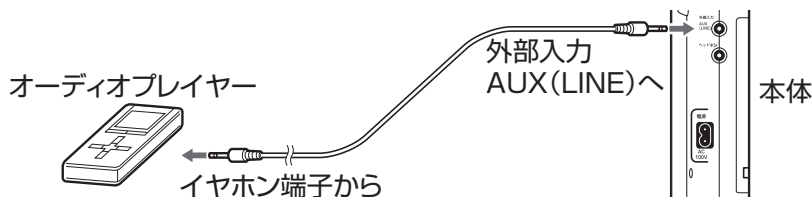
本体の向きを変えてください。

FM ステレオ放送の受信について

FM ステレオ放送を受信すると、“**ST**” が表示されステレオになります。

- AM ステレオ放送には対応していません。

外部の音声機器を聞く

イヤホン端子、ヘッドホン端子から本機左側面の外部入力端子に 3.5 φステレオミニプラグ付接続コード（別売）をつないで、携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどを接続して本機のスピーカーから音声を楽しむことができます。

---

1 外部入力端子と音声機器、イヤホン端子、ヘッドホン端子を接続する

---

2 電源 ボタンを押す

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用したモードが表示されます。

● 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

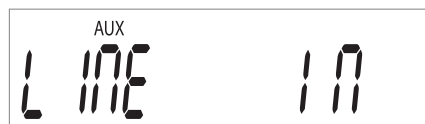
---

3 【外部入力 / マイク】ボタンを押し「LINE IN」にする

液晶表示部に“LINE IN”と“MIC”が交互に切り換って表示されます。

交互表示

外部入力 / マイク

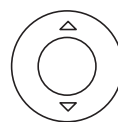
---

4 外部入力端子に接続した音声機器の音声を再生する

本機のスピーカーから音声が流れます。

---

5 【音量】ボタンで音量を調節する

外部に接続した音声機器で、音量を調節することもできます。

音量

お知らせ

● 携帯電話やデジタルオーディオプレーヤと接続するコードは、3.5 φステレオミニプラグ付接続コード（別売）を使用してください。

SD カードを聞く

通常再生

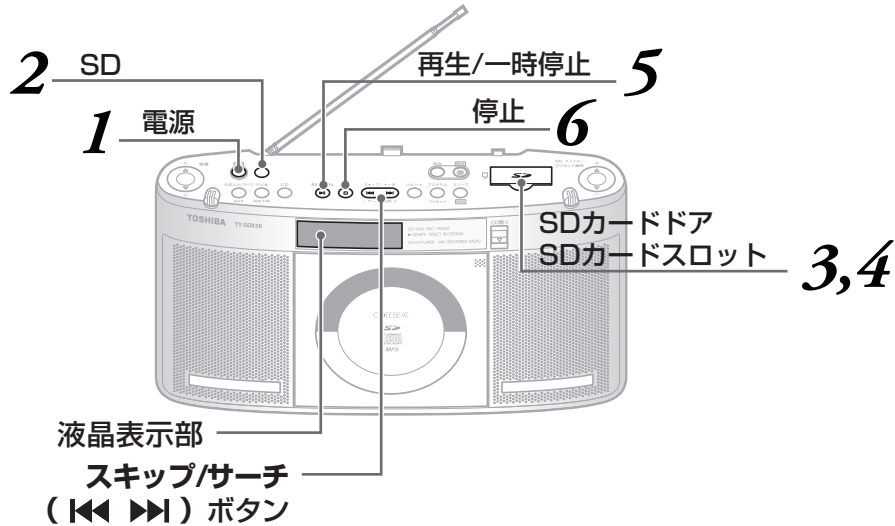
一般に、SD カードは CD のアルバムに相当するホルダーと、アルバムの中の曲名に相当するファイルで構成されています。

● SD カードについては、事前に 7 ページを参照してください。

---

1 電源 ボタンを押して電源を入れる

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用したモードが表示されます。

---

2 ［SD］ボタンを押す

液晶表示部に“NO SD”が表示されます。

---

3 SD カードドアを開ける

使いかた

4 SD カードを SD カードスロットへ入れる

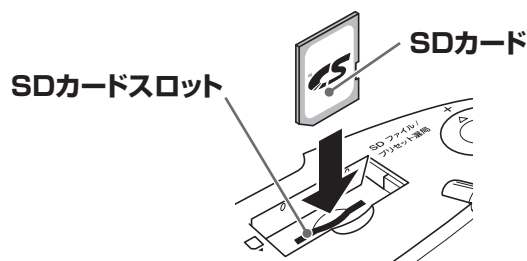
SD 108 CAP.38

（例）108ファイル　空き容量約 38%

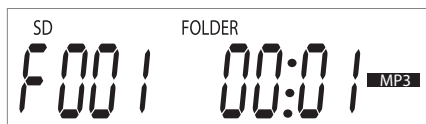
SD カードは表面を手前にして、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

液晶表示部に“reading”が点滅しファイルを読み込みます。

読み込みが終了すると、液晶表示部にSDカードの総ファイル数と空き容量がパーセント表示されます。

- ファイル数が多いと読み込みに時間がかかることがあります。
- 何回も記録消去、再生をくり返した SD カードは使用できるホルダー数が少なくなって“FULL FOLD”が表示されることがあります。この場合は SD カードをフォーマットし直すことをお勧めします。

5 [再生 / 一時停止（▶II）] ボタンを押す

ホルダー番号 1- ファイル番号 1 から再生が始まります。

ホルダー番号 - ファイル番号と再生経過時間が表示されます。

ホルダー番号　　再生経過時間

交互表示

ホルダー番号　　再生経過時間

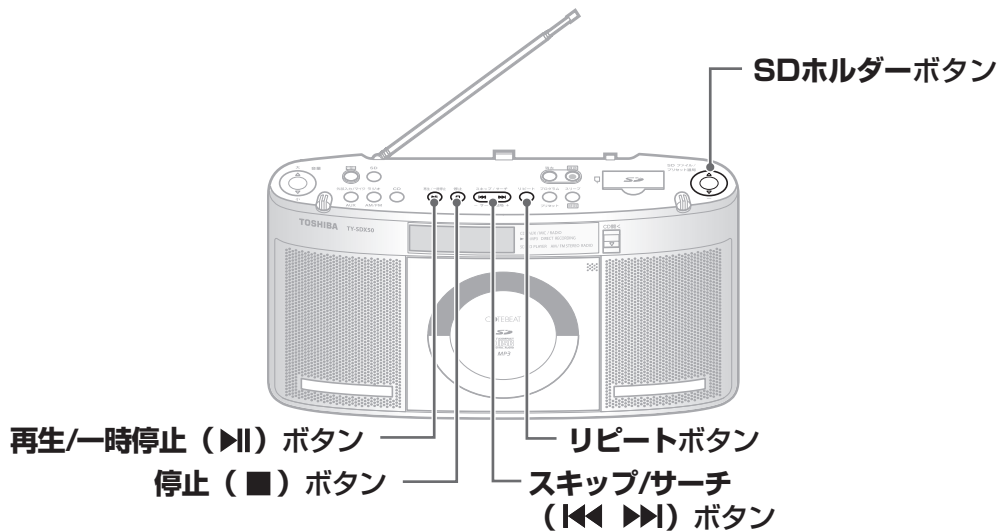
(例)ホルダー番号 001の 1曲目を再生
最後の曲が終わると自動的に止まります。

止めるときは [停止（■）] ボタンを押す

SD カードを取り出すには

[停止（■）] ボタンを押してから SD カードを押して引き抜きます。最後に SD カードドアを閉めます。

お願い

- SD カードドアは、ゴミ等で接続不良にならないように、開けっ放しにしないでください。
- SD カードは正しく入れてください。表面と裏面を逆にして入れないでください。

再生の一時停止

再生中に［再生 / 一時停止（▶II）］ボタンを押す（再生時間が点滅）

もう一度押すと再び再生が始まります。

聞きたい曲から聞く（スキップ）

停止または一時停止中に［SD ホルダー］ボタンを押して希望のホルダー番号を選ぶ。次に、［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを押して希望のファイル番号を選び、［再生 / 一時停止（▶II）］ボタンを押す

再生中に［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを押し続けると曲番が連続して変わります。

希望のホルダー、ファイルを選んだら［再生 / 一時停止（▼ II）］ボタンを押す

選んだホルダー、ファイルの再生が始まります。

再生中に［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを短押しして希望の曲番を選ぶ

選んだ曲番の頭から再生が始まります。

［スキップ / サーチ（I◀◀）］ボタンを一度押す

現在の曲の始めに戻ります。

［スキップ / サーチ（I◀◀）］ボタンを二度押す

前曲の始めに戻ります。

［スキップ / サーチ（▶▶I）］ボタンを一度押す

次の曲の始めへ進みます。

早送り、早戻し（サーチ）

再生中に［スキップ / サーチ（I◀◀または▶▶I）］ボタンを押し続けて、希望のところで指を離す

そこから再生が再開されます。

再生をくり返す（リピート再生）

［リピート］ボタンを押す

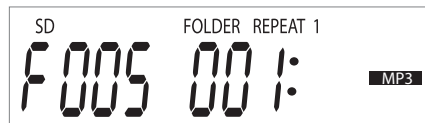
SD カードの中の 1 曲だけ、全曲、またはプログラムした曲だけをくり返し再生します。

● **1 曲だけをくり返し再生する場合**

くり返すホルダーとファイル番号を選び約 5 秒以内に **［リピート］** ボタンを 1 度押してから **［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押します。

液晶表示が総ファイル数と空き容量表示に変わったらやり直してください。

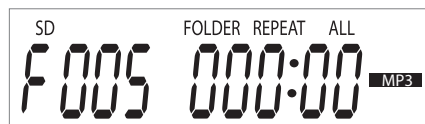
（“**REPEAT 1**” が表示されます）

再生中に **［リピート］** ボタンを押すと聞いている曲のくり返し再生に変わります。

フォルダーとファイルを選択

(例)ホルダー番号 005のファイル番号1のリピート再生

● **プログラムした曲をくり返し再生する場合**

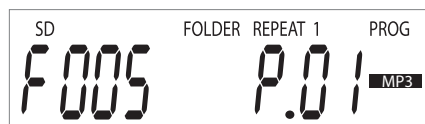
あらかじめ再生したい曲をプログラムし、**［プログラム］** ボタンを押し **［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押してから **［リピート］** ボタンを押します。

（“**REPEAT ALL**” が表示されます）

再生中に **［リピート］** ボタンを 2 度押しすると全曲くり返し再生に変わります。

交互表示

（“**REPEAT ALL**” が表示されます）

● **プログラムした曲をくり返し再生する場合**

あらかじめ再生したい曲をプログラム（37 ページ）し、**［プログラム］** ボタンを押し **［再生 / 一時停止（▶II）］** ボタンを押してから **［リピート］** ボタンを押します。

“**REPEAT 1 PROG**” 表示：
聞いている曲のくり返し再生

“**REPEAT ALL PROG**” 表示：
プログラムした全曲のくり返し再生

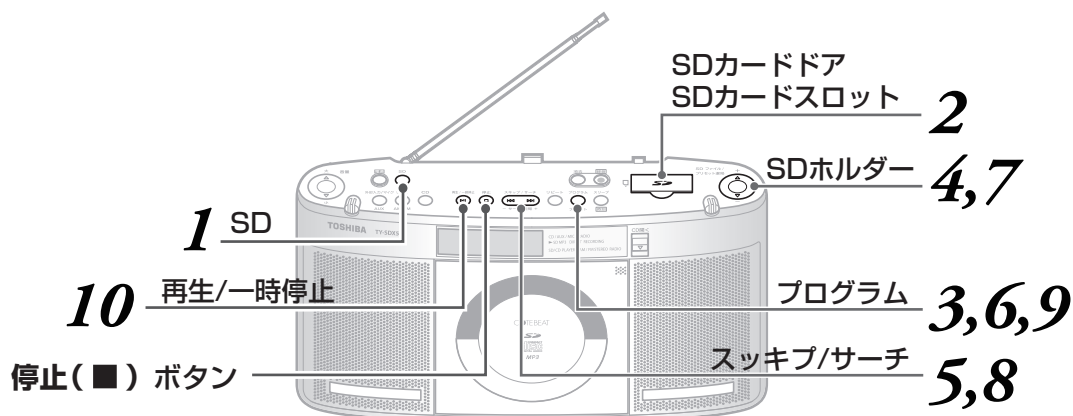
● **リピート再生を解除するには［リピート］ボタンを 1 度または 2 度押し、“REPEAT 1” または “REPEAT ALL” の表示を消します。**

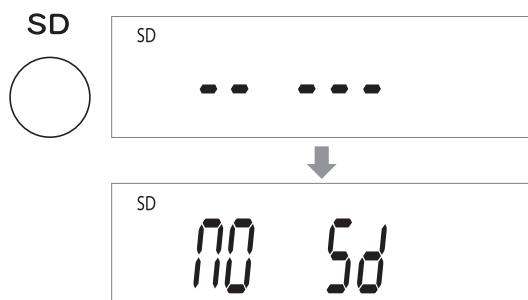
［停止（■）］ ボタンを押すとリピートも解除します。

お好みの曲を選んで聞く（プログラム再生）

好みの曲を 40 ステップまで選んで再生することができます。

プログラム再生の設定例

はじめにホルダー番号 1、ファイル番号 3 を再生し、引き続きホルダー番号 4、ファイル番号 8 を再生する

1 ［SD］ボタンを押す

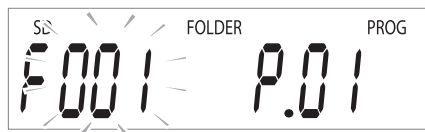
液晶表示部に“NO SD”が表示されます。

2 SD カードドアを開け、SD カードを SD カードスロットに入れる

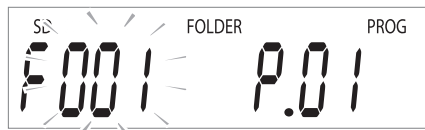
液晶表示部に SD カードの総ファイル数と空き容量が表示されます。

（例）108ファイル　空き容量 38%

使いかた

3 **［プログラム］ボタンを押す**

“PROG”と“P.01”が表示され、“001”が点滅します。

4 **［SD ホルダー］ボタンをくり返し押して予約したい 1 番目のホルダー番号を選ぶ**

選んだホルダー番号“001”が点滅します。

5 **次に［スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンをくり返し押して予約したい 1 番目のファイル番号“-003”を選ぶ**

選んだファイル番号が点滅します。

6 **［プログラム］ボタンを押す**

1 番目のホルダー番号 - ファイル番号が予約され、次のプログラム番号“P.02”が表示され“001”が点滅します。

7 **［SD ホルダー］ボタンをくり返し押して予約したい 2 番目のホルダー番号“004”を選ぶ**

選んだホルダー番号が点滅します。

8 **［スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンをくり返し押して予約したい 2 番目のファイル番号“-008”を選ぶ**

選んだファイル番号が点滅します。

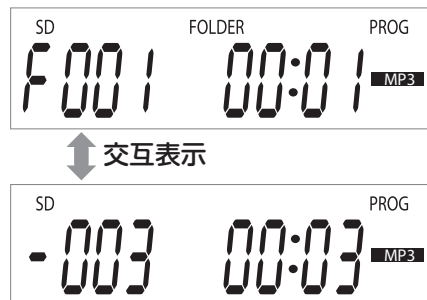
9 **［プログラム］ボタンを押す**

2 番目のホルダー番号 - ファイル番号が予約され、次のプログラム番号“P.03”が表示され、“004”が点滅します。

引き続いてプログラムする場合は、手順 4 ～ 6 をくり返します。

プログラムは最大 40 ステップまで可能です。

10 **［再生 / 一時停止（▶II）］ボタンを押す**

プログラムの記憶が終了し、プログラム再生が始まります。

● 設定したプログラムがすべて再生されると停止します。途中で **［停止（■）］** ボタンを押して停止することもできます。設定したプログラムはモードを切り換えたり、SD カードを取り出すと解除されます。

プログラムの確認・変更・取り消しについて

確認する

プログラム再生中またはプログラム再生の一時停止中に［スキップ / サーチ（I◀◀または ▶▶I）］ボタンを押すとプログラムした曲順に曲番が表示されます。

変更する

停止時に［プログラム］ボタンをくり返し押して変更したいホルダー番号 - ファイル番号を表示(点滅)させた後、前ページからの手順４～６にしたがって曲を変更します。

● プログラムした曲と曲との間に新しい曲を追加したり、削除することはできません。

取り消す

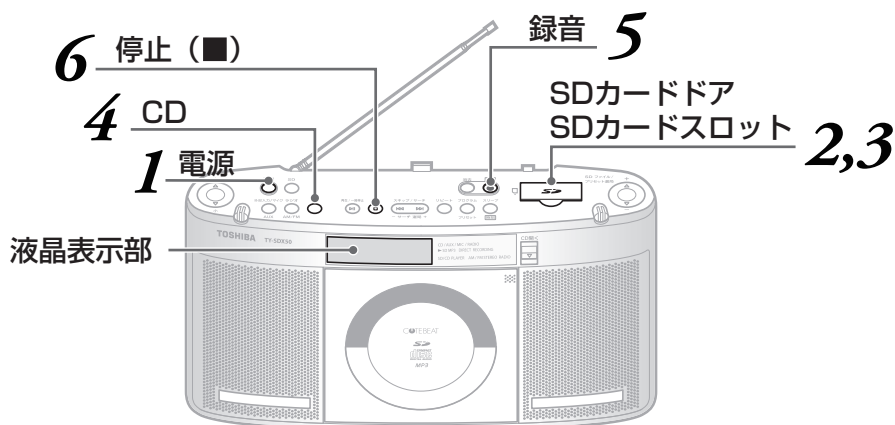
設定したプログラムを取り消すときは SD カードを取り出すか、SD 以外のモードに切り換えるか、電源を切ります。

SD カードに録音する

一般に、SD カードは CD のアルバムに相当するホルダーとアルバムの中の曲名に相当するファイルで構成されます。SD カードには複数のホルダーとその中の複数のファイルを記録できます。

● 録音とホルダー、ファイル表示の関係

CD	CD を入れ換えて録音するごとに次のホルダー番号に変わります。
外部入力	長時間録音の場合 4 時間（240 分）ごとに次のファイル番号に変わります。
ラジオ 内蔵ステレオマイク	長時間録音の場合約 4 時間(257 分)ごとに経過時間が“00:00”にリセットし再カウントします。

● **SD カードのデータが破損していた場合、読込みが無しの場合、操作を受け付けない場合、一旦 電源 ボタンを“切”にして、電源コードを抜き差ししてください。**

● **録音した内容を記録しておくと、あとで選曲するときなどに便利です。**
（録音のメモ例）

ホルダー	歌手名	アルバム名	ファイル	曲名	時間
F001	×××	×××	0 0 1	×××	×××
F002	△△△	△△△	0 0 2	△△△	△△△
F003	○○○	○○○	0 0 3	○○○	○○○
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

● SD カードのデータが破損していた場合、読み込み不可の場合、操作ボタンが機能しなくなった場合は、一旦電源を“切”にして電源コードを抜き差ししてください。

CDを録音する

1 電源 ボタンを押して電源を入れる

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用したモードが表示されます。

● 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

2 SD カードドアを開ける

3 SD カードを SD カードスロットへ入れる

SD カードは表面を手前にして、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

4 [CD] ボタンを押し、[CD] を入れる

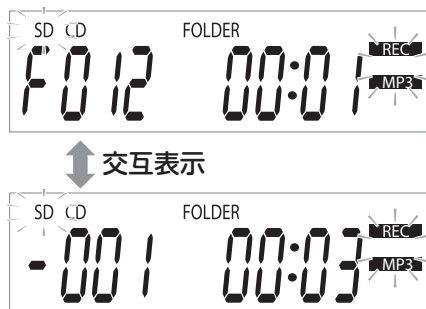
液晶表示部が "-- ---" 点滅後 "CD" の **"総曲数"** と **"総再生時間"** が表示されます。

CD
24 73:08

5 [録音（●）] ボタンを押す

CD がまわり、再生しながら SD カードへ録音します。再生音も同時に聞くことができます。SD カードの空いたところを捜して（"Reading" 表示)、空きホルダーへ順に録音します。SD への録音経過時間も表示されます。

交互表示

（例）CDをホルダー番号 012、ファイル番号 001に録音して 3秒経過

6 [停止 (■)] ボタンを押す

SD カードへの録音が停止します。CD の再生音は引き続き流れます。
CD も止める場合は、再度 **[停止 (■)]** ボタンを押します。

● 録音中に **[再生／一時停止（▶II）]** ボタンを押すと、CD 再生と SD 録音が一時停止し、経過時間表示が点滅します。
もう一度 **[再生／一時停止（▶II）]** ボタンを押すと、再び再生と録音が始まります。

お知らせ

- 録音する前に SD カードの空き容量を確認してください。
- SD カードが一杯になると自動的に止まります。
- スリープ時間（P50）を設定しているときは、録音中でも時間が来ると、電源が切れます。
- 液晶表示部に表示される空き容量は､あくまでも目安です。メモリ容量 512MB の SD カードには目安で約 120 曲(8 時間分）の録音できます。
- SD カードのロックを解除してから SD カードスロットに入れてください。
- 録音中は SD カードを直接抜かないでください。データが壊れる場合があるので必ず **[停止（■)]** ボタンを押してから抜いてください。
- SD のホルダー番号は CD を入れ換える（ドアを開閉する）と､くり上がり､そのホルダーのファイル番号 1 から録音されます。
- 希望の曲から録音するときは、曲番を選び **[録音（●)]** ボタンを押します。
- 希望の曲だけを選んで録音するときは、CD プログラム再生モード（"PROG" 表示）にしてから録音します。（プログラム再生のしかた 23 ページ）
- CD の再生中に **[録音（●)]** ボタンを押すと、その曲の最初から録音が始まります。

MP3 ディスクを録音する

1 **電源 ボタンを押して電源を入れる**

電源

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用したモードが表示されます。

● 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

2 **SD カードドアを開ける**

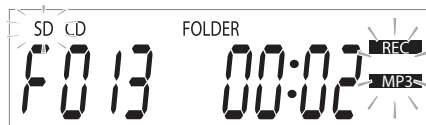
3 **SD カードを SD カードスロットへ入れる**

SD カードは表面を手前にして、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

4 **[CD] ボタンを押し [MP3] ディスクを入れる**

液晶表示部に、“総ホルダー数”と“総ファイル数”が表示されます。

5 **[録音（●)］ボタンを押す**

MP3 ディスクがまわり、再生音を聞きながら録音が始まります。

交互表示

（例）MP3ディスクをホルダー番号 013の
ファイル番号 002に 4秒まで録音中

6 **[停止 (■)] ボタンを押す**

録音が停止します。再生音は引き続き聞くことができます。

再生音も止める場合は、再度 **[停止 (■)]** ボタンを押します。

● 録音中に **[再生／一時停止（▶II）]** ボタンを押すと、録音と再生が一時停止します。
● もう一度押すと再び録音と再生が始まります。
● なお MP3 ディスクから SD カードへの録音は 1 枚 1 ホルダーとしてカウントされます。
● SD のホルダー番号は CD ドアを開閉すると、ホルダー番号がくり上がり、ファイル番号 1 から録音されます。
● 希望の曲から録音するときは、曲番を選び **[録音（●)］**ボタンを押します。
● 希望の曲だけを選んで録音するときは、プログラム設定をして“PROG”を表示させてから **[録音（●)］**ボタンを押します。
● CD の再生中に **[録音（●)］**ボタンを押すと、その曲の最初から録音が始まります。

ラジオを録音する

● 受信電波が弱いなど、受信環境が悪い場合、録音を開始するとノイズが増える場合はラジオ録音はおすすめできません。

---

1 電源 ボタンを押して電源を入れる

電源

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用したモードが表示されます。

● 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

---

2 SD カードドアを開ける

---

3 SD カードを SD カードスロットへ入れる

SD カードは表面を手前にして、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

---

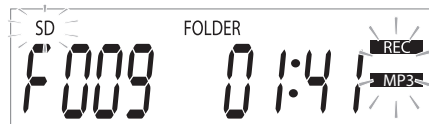
4 [ラジオ（AM/FM）] ボタンを押し、録音するラジオ局を受信する

液晶表示部に、受信したラジオ局の **"周波数"**、**"受信バンド"** が表示されます。

FM 78:00 MHz

---

5 [録音（●）] ボタンを押す

ラジオを聴きながら録音が始まります。

（例）選局した放送をホルダー番号009のファイル番号 001に 1分 43秒まで録音中

---

6 [停止 (■)] ボタンを押す

録音が停止します。ラジオは引き続き聞くことができます。

お知らせ

● SD のホルダー番号を変える場合は [停止 (■)] ボタンを押し、再度［録音（●)］ボタンを押してください。ホルダー番号がくり上がり、ファイル番号 1 から録音されます。

SD カードに録音する（つづき）

外部入力の音声を録音する

1 **電源 ボタンを押して電源を入れる**

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用したモードが表示されます。

- 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

2 **SD カードドアを開ける**

3 **SD カードを SD カードスロットへ入れる**

SD カードは表面を手前にして、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

4 **外部入力端子へ音声機器を接続する**

5 **[外部入力 / マイク] ボタンを押し「LINE IN」にして、外部の音声機器を外部入力端子へ接続する**

押すごとに“LINE IN　AUX”、と“MIC”が交互に表示されます。

6 **[録音（●)] ボタンを押す**

録音が始まります。
モニター音も同時に聞くことができます。

7 **[停止 (■)] ボタンを押す**

録音が停止します。モニター音は引き続き聞くことができます。

お知らせ

- SD のホルダー番号を変える場合は [停止 (■)] ボタンを押し、再度［録音（●)］ボタンを押してください。ホルダー番号がくり上がり、ファイル番号 1 から録音されます。

内蔵マイク（ステレオ）で録音する

1 **電源** **ボタンを押して電源を入れる**

バックライトが点灯し "HELLO" が表示された後、前回使用したモードが表示されます。

● 電池の場合、バックライトの点灯は約 10 秒です。

2 **SD カードドアを開ける**

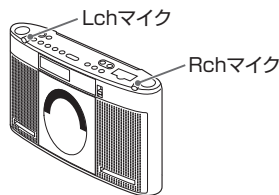
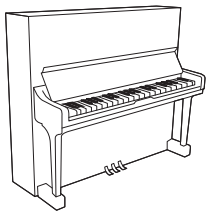
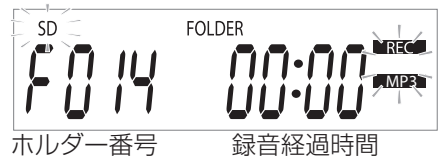
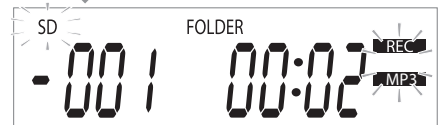
3 **SD カードを SD カードスロットへ入れる**

SD カードは表面を手前にして、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

4 **［外部入力 / マイク］ボタンを押し「MIC」にする**

押すごとに “LINE IN” と “MIC” が交互に表示されます。

5 **［録音（●）］ボタンを押す**

左右の内蔵マイクに入る音声が録音されます。

(例)内蔵マイクでホルダー番号 014、ファイル番号 001に録音中

ファイル番号　録音経過時間

6 **[停止 (■)] ボタンを押す**

内蔵マイク録音が停止します。

使いかた

お知らせ

- SD のホルダー番号を変更する場合は [停止 (■)] ボタンを押し、再度［録音（●)］ボタンを押すと、次のホルダー番号に変わって、ファイル番号 1 から録音されます。
- 録音レベルは調整できません（Auto Level Control)。

録音したSDカードを消去する

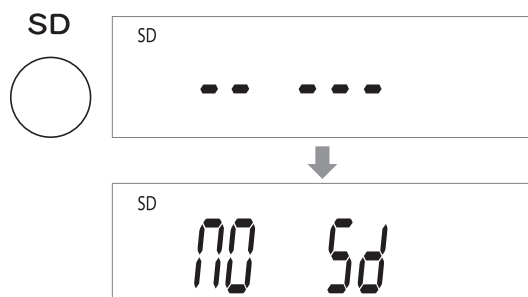
ご注意

- SDカードを一旦消去すると、消去されたデータは復元できません。消去には十分注意してください。
- ホルダー順やファイル順の入れ換えなどの編集は、本機ではできません。
- ロックされているSDカードは録音・消去できません。
- ホルダー、またはファイルを消去すると、消去した以降の全てのホルダー番号、または全てのファイル番号がくり上がります。

ファイル消去

- SDカードに録音されているファイルを選んで消去します。

1 **［SD］ボタンを押す**

液晶表示部に“NO SD”が表示されます。

2 **SDカードドアを開け、SDカードをSDカードスロットに入れる**

液晶表示部にSDカードの総ファイル数と空き容量が表示されます。

（例）108ファイル　空き容量38%

3 **［SDホルダー］ボタンを押して、消去するホルダーを選ぶ、引き続き［スキップ / サーチ（⏮または⏭）］ボタンを押して消去するファイルを選ぶ**

4 **［消去］ボタンを短押しする**

“DEL FILE”と“ERASE”が点滅します。

SD 1
dEL FILE
ERASE

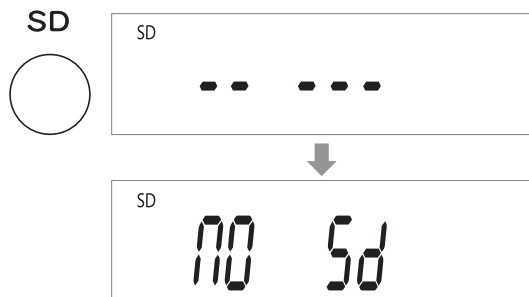
⚠ **注意：選択したファイルが消去されます。**
よろしいですか？

5 **点滅中（約5秒）に［消去］ボタンを長押しする**

“DEL END”の表示で選択したファイルが消去されました。**［停止］**ボタンを押してください。

ホルダー消去

●SD カードに録音されているホルダーを選んでを消去します。

1 **【SD】ボタンを押す**

液晶表示部に“NO SD”が表示されます。

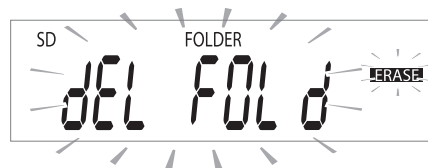
2 **SD カードドアを開け、SD カードを SD カードスロットに入れる**

液晶表示部に SD カードの総ファイル数と空き容量が表示されます。

（例）108ファイル　空き容量 38%

3 **【SD ホルダー】ボタンを押して、消去するホルダーを選ぶ**

4 **【消去】ボタンを短押しする**

“DEL FOLD”と“ERASE”が点滅します。

⚠ 注意：選択したホルダーが消去されます。
よろしいですか？

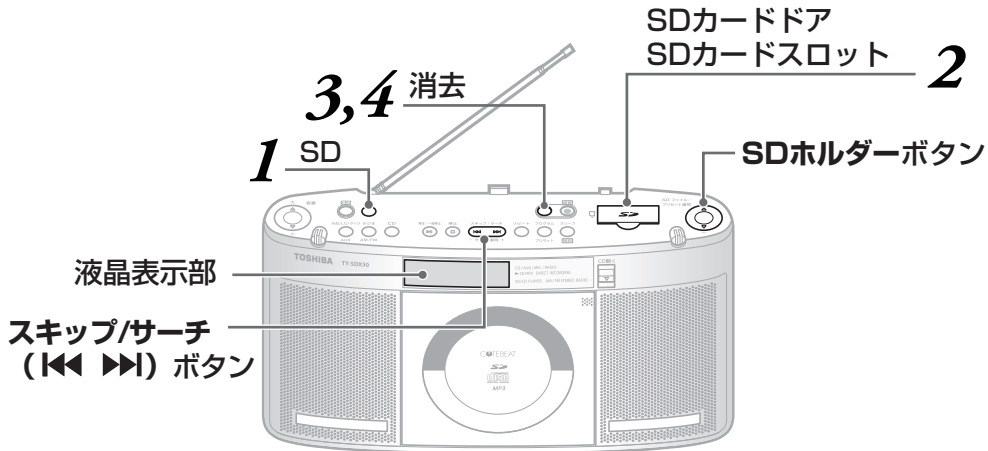
5 **点滅中（約 5 秒）に【消去】ボタンを長押しする**

“DEL END”の表示で選択したホルダーが消去されました。**[停止]** ボタンを押してください。

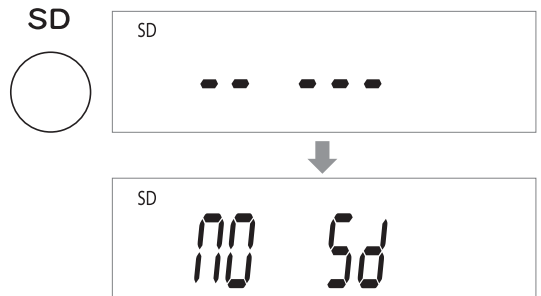
使いかた

録音した SD カードを消去する　（つづき）

全消去

● SD カードに録音されているデータすべてを消去します。

1 **［SD］ボタンを押す。**
液晶表示部に“NO SD”が表示されます。

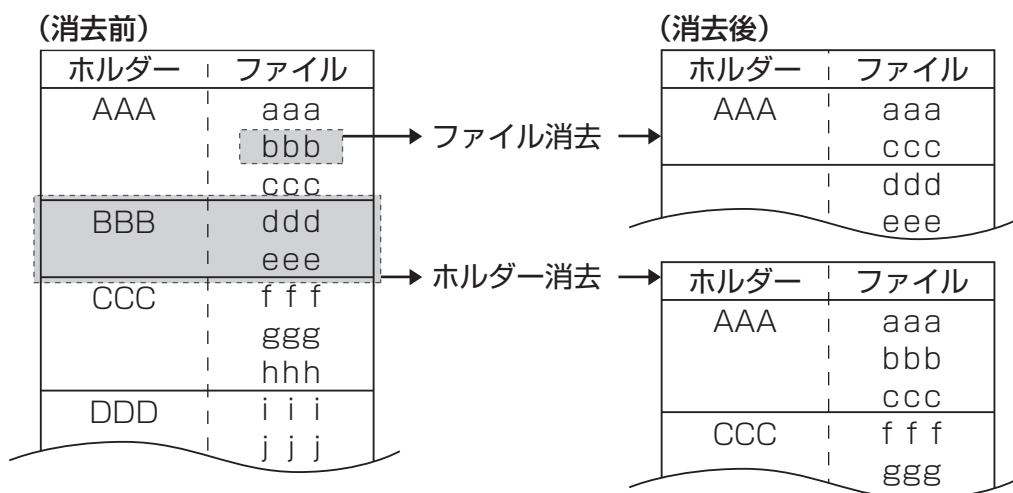
2 **SD カードドアを開け、SD カードを SD カードスロットに入れる**
液晶表示部に SD カードの総ファイル数と空き容量が表示されます。

（例）108ファイル　空き容量 38%

3 **［消去］ボタンを短押しする**
“DEL ALL”と“ERASE”が点滅します。

⚠ 注意：SD カードにのデータすべてが消去されます。
　　　　よろしいですか？

点滅中（約５秒）に［消去］ボタンを長押しする

“DEL END”の表示で全消去されました。
［停止］ボタンを押してください。

- 操作を受け付けない場合は改めてSD専用のソフトウェアでフォーマットをし直してください。
- 本体の操作やディスプレイ表示が異常になった場合は、一旦電源コードを抜き差ししてマイコンをリセットしてください。
- ホルダーやファイルを消去した場合、消去以降の全ホルダーは番号がくり上がりますが、消去した分の空き容量は減じます。
- 空き容量を100%戻すには、パソコン等でファイルなしのホルダーを削除してください。
- 消去の例：

音楽を聞きながら眠る

CD、ラジオ、SD カード、外部機器の音楽を聞いているときに

1 **[スリープ] ボタンを短押しする**

電源が切れるまでの時間を約 2 秒表示します。

スリープ

2 **[スリープ] ボタンを短押しして時間を設定する**

"90" ～ **"10"** までのスリープ時間（10 分刻み）を選択します。

（例）60分

●スリープ機能を中止する

[スリープ] ボタンを押し、"OFF" を選びます。

●設定した後スリープまでの時間を確認する

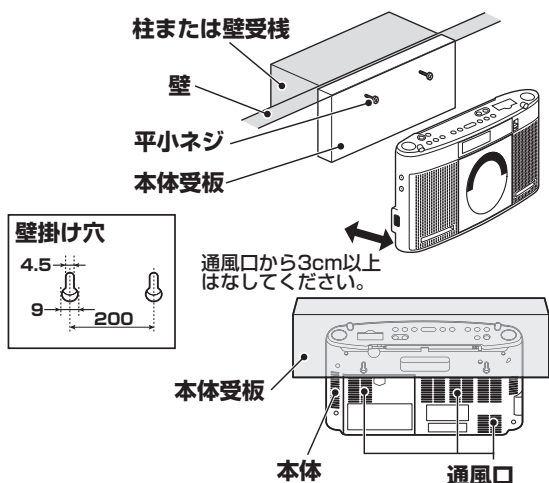
[スリープ] ボタンを押すと、残るスリープまでの時間を約 2 秒表示します。

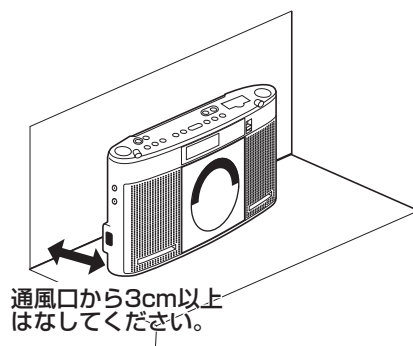
ご注意

- スリープ機能は、CD、SD カード、ラジオ、外部入力を再生している時に働きます。
- スリープボタンを長押しすると、時計モードになり約 5 秒間時刻が表示されます。更にもう一度短押しすると、次の 10 分単位の設定に、順に更新されます。
  例：スリープ残時間が 53 分の場合は 50 分に、残時間が 3 分の場合は OFF になります。
- 録音中でも、事前にスリープ設定されている場合、時間が来ると電源が強制的に切れます。（録音中はスリープ残時間表示は確認が出来ませんので、ご注意ください。）

据付について

■ 壁に掛ける場合

柱または壁受桟に本体受板をしっかり固定してから、市販の平小ネジ(4 φ)で取り付けます。

■ 台の上に置く場合

丈夫で水平な安定した台の上に置き、転倒・落下しないように防止して据置きます。

お願い

- 本体受板は、電池を入れたときの本体総質量(2.3kg)に十分耐えられる構造にしてください。
- 地震などの揺れに対しても、容易に外れて落下しないようにしてください。
- 本体背面の通風口をふさがないように3cm以上のすき間をあけてください。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

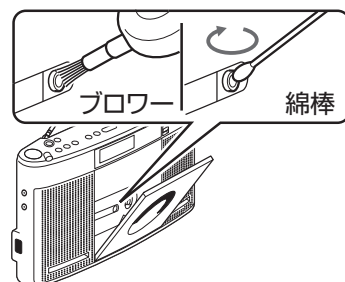
柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

CD ピックアップ（レンズ）部

CD ピックアップ(レンズ部)を強く押したり、衝撃を与えないでください。故障します。

CD 装着部のレンズが汚れると、音とびが起きたり、再生ができなくなったりします。

ほこりなどは、市販のブロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシの先でほこりを掃き出します。指紋などレンズについた汚れは、市販のレンズクリーナーを市販の綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。

お願い

- レンズを指で拭かないでください。

故障かな？と思ったとき

電源・アンプ関係

症状	原因	処置方法
操作を受け付けない	● マイコンが固まっている。	→ 電源コードを一旦抜いて再び差し込む → 乾電池駆動の場合は電池を抜いて再び差し込む
音がでない	● 電源プラグがはずれている ● 乾電池が消耗している ● 音量レベルが下がっている ● ヘッドホンが差し込まれている ● 機能切換が合っていない	→ プラグを確実に差し込む → 乾電池を交換するか、AC で使用する → 音量レベルを調節する → ヘッドホンをはずす → 機能切換を合わせる

SD 関係

症状	原因	処置方法
音がでない	● SD カードにキズがある	→ SD カードを交換する
再生できない	●「SD カードについて」（7 ページ）に記載された SD カードではない	→「SD カードについて」（7 ページ）に記載された SD カードと交換する
録音できない	●「SD カードについて」（7 ページ）に記載された SD カードではない ● 空き容量がない	→「SD カードについて」（7 ページ）に記載された SD カードと交換する → 十分空き容量のある SD カードと交換する

CD プレーヤー関係

症状	原因	処置方法
音がでない	● ピックアップが汚れている ● CD や MP3 ディスクにキズ、汚れ、指紋、油、ほこりがついている。	→ CD ピックアップ部を清掃する（P51 参照） → CD や MP3 ディスクを交換する → CD や MP3 ディスクの汚れを取り除く
再生がはじまらない	●「 CD について」（8 ページ）に記載された CD ではない ● CD が裏返しになっている ● CD が汚れている	→「 CD について」（8 ページ）に記載された CD と交換する → 表面を手前にして入れる → 清掃する
音がとぶ	● CD に大きな傷やそりがある ● 振動する場所に設置している ● CD にキズがある	→ CD をとりかえる → 振動のない場所に設置する → CD を交換して確かめる

ラジオ関係

症状	原因	処置方法
雑音が多く聞きづらい	● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ● 電波が弱い	→ 電源コードを差し換える → 本機を雑音源から離す → テレビを消す → アンテナを調節する

お願い

● CD の再生中に、表示や動作が異常になった場合は、一度［電源］ボタンを押し「電源 切」にしてから電源コードを外し、再度電源コードをつないでから「CD」に戻して、操作しなおしてください。

● 長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

仕様

CD プレーヤー部

チャンネル数	2 チャンネルステレオ
再生可能ディスク	CD、CD-R/RW（CD-DA フォーマットで記録されたディスク） MP3(～320Kbps)、WMA（～128Kbps）ディスク

SD カード部

再生可能データ	MP3（MPEG-1 Audio Layer 3(～128Kbps))、WMA（Windows Media® Audio(～320Kbps))
記録方式	MP3
ビットレート	128Kbps
対応メモリー容量	32MB ～ 2GB

ラジオ部

受信周波数（＊）	AM：522kHz ～ 1,638kHz FM：76MHz ～ 90MHz

時計部

時刻	デジタルクロック　AM/PM 時分表示
タイマー	スリープ機能　　90 分～ 10 分（10 分刻みの設定）

共通部

実用最大出力（＊）	1.0W ＋ 1.0W（総合 2.0W）
スピーカー（＊）	76mm φコーン型（8 Ω）× 2
入出力端子	外部入力：3.5 φステレオミニジャック ヘッドホン出力：3.5 φステレオミニジャック マイク入力：内蔵　左右　2 チャンネル
電池持続時間（＊）	東芝アルカリ乾電池 単 2 × 8 本使用時 ラジオ受信時：約 45 時間 SD 再生時：約 25 時間 CD 再生時：約 17 時間 CD → SD 録音時：約 13 時間
電源（＊）	AC 100V、50 - 60Hz DC 12V、単 2 形乾電池× 8 本（別売）
消費電力（＊）	13W
最大外形寸法（＊）	325（幅）× 170（高さ）× 68（奥行）mm (ボタン・ツマミ等の突起物含む）
質量（＊）	約 1.7kg（乾電池含まず）
付属品	電源コード 取扱説明書（保証書付）

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
（＊）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA 規格」による測定値。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイートレーディングサポートセンター

フリーダイヤル **0120-28-0488**
受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・PHSなど
ナビダイヤル **0570-01-0488（通話料：有料）**
FAX
03-3258-0470（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の55ページに記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

保証書（一体）

- SD/CDラジオの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理品

52ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための診察。
部品代	修理に使用した部品代

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	お買い上げ店名	電話　（　　）

愛情点検

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- 電源コードが傷んでいる
- 煙が出る
- 変な臭いがする
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

持込修理品

東芝SD/CDラジオ保証書

形名	TY-SDX50			
★お客様	お名前	ふりがな 様		
	ご住所	〒□□□-□□□□		
	電話	市外	市内	番号 呼
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日 年 月 日から	
★ご販売店	住所・店名 電話			

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイートレーディング株式会社

〒101−0021　東京都千代田区外神田2−2−15（東芝昌平坂ビル）

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。

また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝エルイートレーディングサポートセンターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社

〒101−0021　東京都千代田区外神田2−2−15(東芝昌平坂ビル)